

2016 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科目区分名	共通学芸 科目
-------	---------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

評点平均値の科目区分間比較で見ると、授業に対する学生の反応と行動に関する項目では、「授業理解度」（4.09）と「知的好奇心」（4.08）ではほぼ全学平均値並みであるが、「意欲」（3.99）は全学平均値よりも低く、「授業外学習時間」（0.26h/w）は際立って低い。学生が選択科目の学習に時間をかけにくいという事情、大教室クラスにおいては課題を通じた細かなやり取りがしにくいという事情などはあるが、少しでも改善が望まれるところである。

教員の授業方法と行動に関する項目では、「授業の工夫」（3.97）「授業レベル」（3.31）「話し方」（4.00）、「シラバスとの合致」（4.24）で全学平均値に近い数値である。「集中できる雰囲気」（3.94）は低い数値だが、必ずしも多人数クラスの結果が悪いとは言えず、また極端に結果が悪いクラスがあるわけでもない。

DWCLA10 の科目区分選択率では、「プレゼンテーション力」（6.6%）や変化対応力（4.8%）などいくつかの低い数値は目に付くが、目立って良い結果を出している項目は見当たらない。この結果は、学生が具体的な能力の獲得を実感できていないことを意味する。アクティブラーニングの積極的な導入などを通じて、学科科目区分や他の全学共通科目区分と同様、特色ある魅力的な授業を増やしていく余地は大きいのではないか。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。